

静かな空

連絡先 742-2602 山口県大島郡周防大島町油宇 福田忠邦 Tel+ Fax: 0820-75-1045

大島の静かな空を守る会 会議

日時 2016年2月16日(火曜) 13:30-15:30

場所 日良居支所

出席者 9人

久しぶりに「大島の静かな空を守る会」の会合がひらかれました。発言はたいへん活発で、「皆さん元気」の様子がよくわかりました。

議事 1 瀬戸内ネット総会について

「瀬戸内ネット」の世話人に、吉井勝雄、中尾久利、河合建夫、河井弘志の4名が選ばれたことを報告、了承した。

参加者からの感想：

半田滋氏の記念講演はよかった。

瀬戸内ネットの総会はわずか30分間で、討論も行われぬ。会員は多いのに総会参加者が少なく、講演を聞きにきた人がほとんどだ。

来年の艦載機移駐について何も話がない。

瀬戸内ネットが先導して岩国の諸団体の活動をひっぱっていくべきだ。

会員に電話して参加を呼び掛け、もう一度、臨時総会を開くべきだ。

2 昨年度の活動について

安保法制反対の街頭宣伝を行った。岩国市長選挙に協力した。

3 今年度の活動計画について

安保法制・憲法改正に反対の街頭宣伝を行う。「瀬戸内ネット」の名前でやりたいと申し入れる。瀬戸内ネットの同意がえられなければ、「大島の静かな空」の名前でやるしかない。印刷物を作成して配布することも検討する。

「瀬戸内ネット」と「大島の静かな空を守る会」合同で椎木町長に申し入れをする件については、結論保留。

4 会計報告

瀬戸内ネットの団体会員の会費26年、27年、28年分が未納

だったので、一括納入する。

「守る会」会計 現在残高 17,930 円。

参加者が協力金を出した。(約 1 万円集まり、会計係へ)

5 会報について

編集者の個人新聞にならないよう、協力をお願いしたい。

6 「ミナセン・ヤマグチ」について

夏の参議院選挙で、「立憲主義、民主主義を取り戻し、安全保障関連法を廃止する」ために、県民の統一候補を擁立し、当選させるための「ミナセン (みんなで選挙) ヤマグチ」が発足した。「守る会」としては、候補者選びに時間をかけるべきでない、山口県全体として推薦できる候補者を早くきめるべきだ、ということで全会一致し、その意向をミナセン本部に伝えることにした。

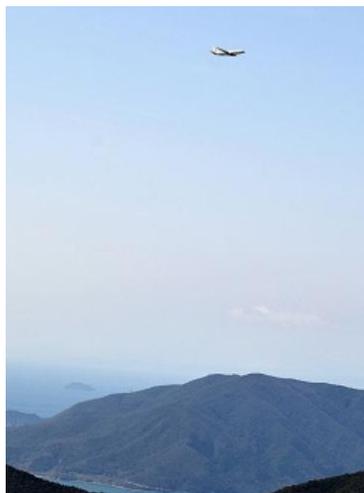
戸村良人 文珠山上空の米軍飛行

2016 年 3 月 25 日

10:22 平郡島上空に米海軍 P-8A 対潜哨戒機ポセイドン (空から潜水艦を探知攻撃する。嘉手納基地) 436 番機



10:37 P-8A ポセイドン 436 番機 (2 周目) 平郡島上空 (左) から祝島上空を通過して柳井上空へ (右)



10:53 P-8A ポセイドン 436 番機 (3 周目) 上関上空 銭坪山から由宇上空へ



11:06 P-8A ポセイドン 436 番機 (4 周目) 嘉納山の上空へ 岩国基地の方向へ小さくなっていく



11:11 と思ったら、2 機目の米海軍 P-8A ポセイドン 437 番機 (嘉手納基地) が上関上空に見えました。



11:15 海上自衛隊 U-36A 訓練支援機 (岩国基地) この機も文珠山山頂のすぐ上に。



11:22 嘉納山(685m)の上に見えたのが、1 機目の米海軍 P-8A ポセイドン 436 番機 (5 周目) です。銭坪山、由宇上空から岩国基地方向へおりていきます。



11:25 平郡島の上から飛んできたのは P-8A ポセイドン 437 番機、2 周目。文珠山頂上の頭の上を飛んできました。



11:39 ポセイドン 437 番機 3 周目も
文珠山山頂の上に。岩国基地の方向に小
さくなっていきました。



11:51 ポセイドン 437 番機 4 周目です。
弁当食べ始めたところで、気付くのが
遅れました。岩国基地の方向に小さく
なっていきました。



12:04 ポセイドン 437 番機 5 周目です。



12:16 平郡上空のポセイドン 437 番機 6
周目。この後、ポセイドン 437 番機の
飛行は見えませんでした。436 番機は 5
回、437 番機は 6 回、周防大島から 7 岩
国基地にタッチアンドゴーをしながら降
りて、旋回し、沖縄普天間基地に戻ったのではないのでしょうか。
(いつものパターンなら)



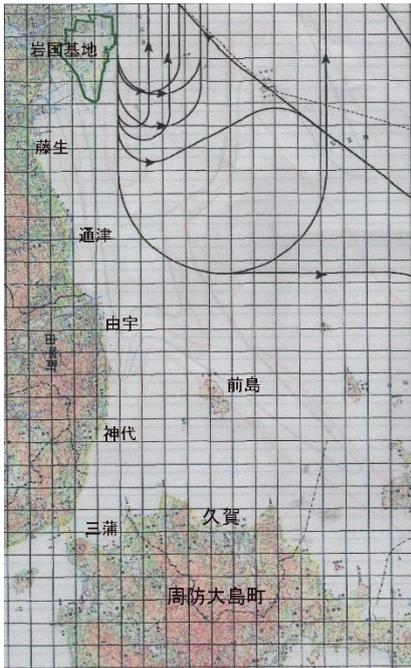
12:38 米海軍 UC-35 要人輸送機サイテーシ
ョン (厚木基地) は旋回。(4 周目) 上関上
空大島大橋上空から旋回して銭坪山から由
宇上空を通過して岩国基地に降りて行きまし
た。



12:42 海上自衛隊 EP-3 電子戦データ収集
機 (岩国基地) 岩国基地に向けて降りて
行きました。



2005年コンター図（20方向） 『基地と岩国』の飛行図



この日の午後は岩国基地から南方向へ向けて離陸するものが多かったそうです。コンター図では藤生、通津から東へ → の方向、『基地と岩国』の図でみると滑走路の南から東方向の海上に飛行するコースだったのでしよう。文珠山から遠くて、撮影できなかったとか。風向きがよくない日は、基地北側（和

木町側）から着陸して、南側（由宇・周防大島町方向）へ飛び、このときは由宇や大島までは飛んでこないようです。飛行コースを東海上へ変えることもできるのです。しかしそれでは倉橋島が困ります。どう考えても、瀬戸内海の米軍基地には無理があります。

3月29日、風向きは25日と同じでしたが、文珠山上空を飛びました。

写真は柳井市在住 S さん提供



周防大島の文珠山山頂の展望台のすぐ上に現れた米海軍艦載機 E-2C ホークアイ（厚木基地）です。山頂で基地方向へ旋回し、降下していきました。

まもなく(15:30)、このホークアイが岩国基地の東海上に現れ、それを戸村さんが撮影しました（右写真）。この艦載機は海上で基地北側へまわり、25日と同じように、北から南に向って滑走路に着陸しました。



厚木基地のタッチアンドゴー

『厚木基地を考える会ニュース』254号に、厚木基地でのタッチアンドゴーの写真が掲載されました。2017年にはこの艦載機59機が岩国基地へやってきて、タッチアンドゴーを行うことになるというのです。

戦後70年、この爆音と事故災害に苦しめられてきた厚木基地周辺の住民は、やっと人間らしい生活に戻ることができるでしょう。しかし岩国基地周辺の住民がその肩代わりをすることになるわけで、頭が痛い話です。

やはり日本国内での米軍機タライマワシはいけません。艦載機には、アメリカに帰ってもらうか、百歩譲っても、硫黄島で訓練してもらうしかないでしょう。

沖縄の辺野古移設について、沖縄県は「(普天間)飛行場の運用停止は辺野古移設と切り離して対応すべきだと反論した」そうです

(『中国新聞』3,28)。つまり普天間基地は早期に「運用停止」すべきであり、代替りの基地を辺野古に作るかどうかは、別の問題として考えるべきだ、という意味です。4月11日にも翁長知事が「辺野古移設阻止」と普天間の「早期運用停止」を求めました(朝日4.12)。

厚木基地も普天間基地も、県内・国内のタライマワシでなく、無条件の運用停止、および返還とすべきでしょう。

基地ウォッチング情報

◎厚木基地でタッチアンドゴー

空母艦載機の訓練による爆音が続いている。基地前で監視していると、離着陸の様態も様々だが、決して周辺住民の生活を配慮したものにはなっていない。



これは、2016年2月12日の厚木基地滑走路北側から撮ったものである。この日は午前中北風だったので、北に向かって離陸、南から着陸である。2機編隊で進入したFA18Eは、タッチアンドゴーで、もう一度周回してから着陸した。前方の機は、すでにタッチして上昇するところである。この日は、このような飛行が2組で計4機あった。当然、爆音も危険度も倍加する。一度で着陸すればよしとするわけではないが、外務省や防衛省の言う「公共の安全に妥当な配慮を払っている」とはとても思えない。